

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）日・英国共同研究
（神経科学に基づく認知症研究分野） 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	光生理学と神経生化学の融合によるヒト認知症遺伝子変異のシナプス機能異常解明
研究開発代表者	尾藤 晴彦
代表機関	東京大学

○評価委員会コメント

成果・評価される点：

- 単色型 CaMK II センサー、シナプス局在プローブ及び次世代認知症モデルマウスなど、認知症研究に資する基盤技術を着実に開発した。
- 記憶エンGRAM動態イメージングやシナプス機能解析を進展させ、今後の病態解明や疾患モデルへの応用が期待される。
- 計画変更時には代替手法を適切に導入し、研究を着実に推進した点が評価された。

課題・改善点：

- 自由行動下深部シナプスイメージングなど当初計画の一部は未達成であり、疾患モデルを用いた実証が今後の課題である。
- 日・英国間の共同研究や共同論文など、国際共同研究としての成果創出をさらに進めることが期待される。